イマをトキメクくれびと KURE-BITO

今まさに輝きを増している人にスポットをあて、さまざまな場面で活躍する呉にゆかりのある人、その名も「くれびと」を紹介します！

絵本作家・アーティスト

長田（ながた） 真作（しんさく） さん

【プロフィール】
36歳。長迫地区出身。2016年『あおいカエル』で絵本作家デビュー。これまで40冊以上の作品を刊行。俳優・松坂桃李さんとのコラボ作品、漫画『ワンピース』を大人向けに描いたピクチャーブックや、昨年には、呉市立図書館開館100周年の記念デザインを描いた。そのほか、呉空襲を自身の祖父の視点で描いた絵本『赤い日』などを刊行。今年、デビュー10周年を迎えた中で、地元・呉での活動にも注力している。

絵本やアートで届けたいものは？

『言葉にできない感動』ですね。だから僕は、直感で描くようにしています。コンセプトを先につくってしまうと、伝えようとしすぎて上手くいかないんですよね。絵本を描いていると「何歳向けですか」とよく聞かれますが、あまり意識していません。逆に「何歳向けだと思いますか」と聞き返したり（笑）。

僕の作品は教科書ではないし、自由なもの。大人ならこれまで歩んできた人生があって、子どもであれば大人にはない感性があります。その上で、それぞれの受け止めがあるので、作品に答えを決めたくないんです。

先日行った作品展では、実際に僕が在廊してギャラリートークなども行いました。たくさんのお客さんに作品の感想やそれぞれの解釈が聞けて、すごく楽しかったですね。

呉の好きなところは？

まず、出身地である長迫が好きです。特に長迫小学校で過ごした6年間は特別でしたね。毎週自分のやりたいことを探求する時間があったり、校内でクジャクやタツノオトシゴが飼われていたりと、とても自由な校風。僕が『タツノオトシゴ』という絵本を出しているのは、間違いなく長迫小学校の影響です（笑）。

去年、僕は卒業生として長迫小学校で話をする機会をもらいました。実際に母校に足を運び当時を振り返ると、自分はすごい恵まれていたんだと気づきましたね。

『長迫の丘』と呼ばれる開放的な立地で、近くには休山の自然や呉の歴史を語る旧海軍墓地も。先生たちも子どものやりたいことを最大限尊重して見守ってくれていたと思いますし、僕も学校にはスキップで行っていました。それくらい楽しかったですね。

今回僕が作品展を行ったギャラリー「リト」も長迫にあり、オーナーは長迫小学校の卒業生。長迫という地域には特別な縁を感じています。

▲長田さんが描いた、呉市立図書館 開館100周年の記念デザイン（中央図書館）

市民の皆さんにメッセージをどうぞ！

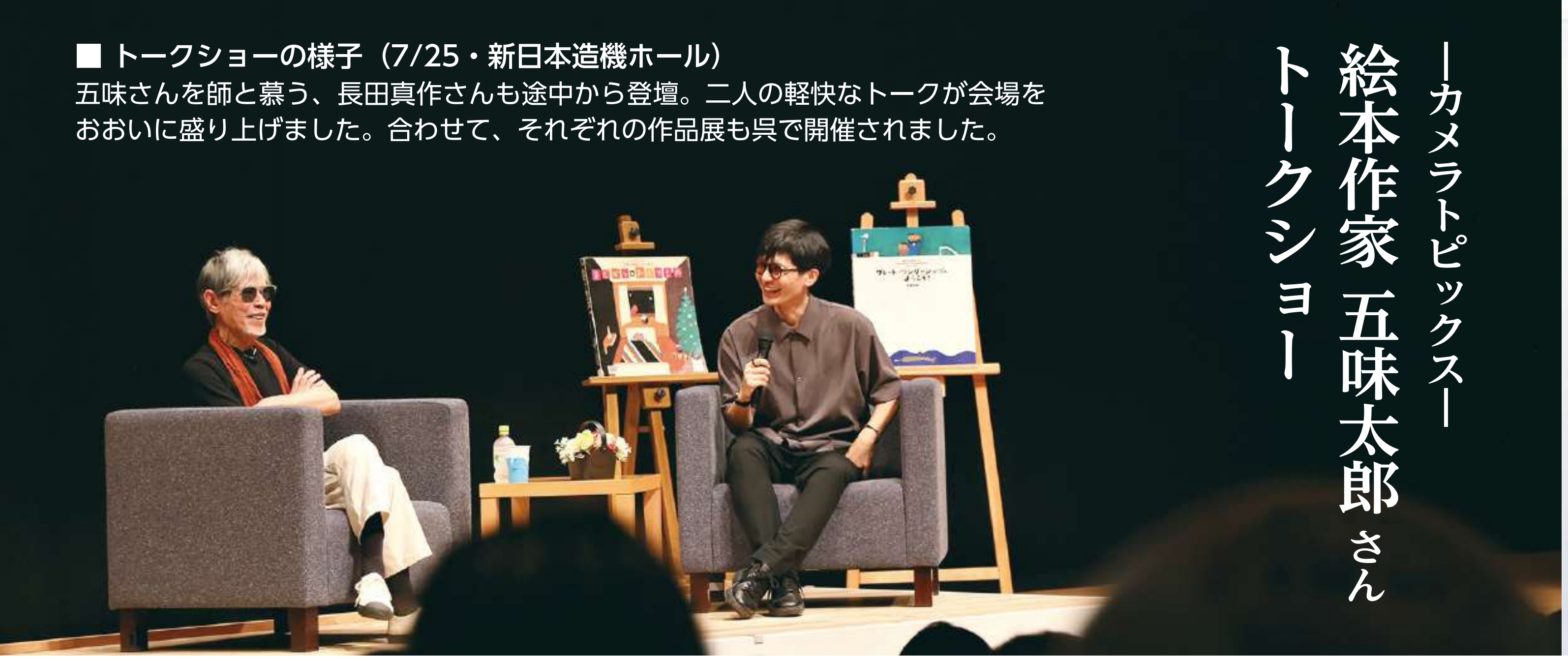
僕が長迫という地域の魅力にしっかり気づいたのは、実は去年くらいから。仕事で呉に帰る機会が増え、今住んでいる東京との比較もあって、実感できるようになりました。一方で、呉で暮らしている皆さんは、その魅力が日常に溶け込んでいて、気づきにくいこともあるのではないでしょうか。

そんな時、絵本やアートなどの作品に触れることは、直感的な気づきや物事の本質をフラットに呼び起こすきっかけになります。どこか当たり前になっている呉の風景が、特別なものに感じられるかもしれません。

僕も作品を通じて、市民の皆さんの背中を押すことができればいいなと思っています。もし手に取ってもらう機会があれば、答えを決めつけず、自由に作品を楽しんでもらえればうれしいですね。

▼「みまもる みまもられる展」フライヤー

▼長田さんのインスタグラムはこちら



―カメラトピックス― 絵本作家 五味太郎さん トークショー

■ トークショーの様子（7/25・新日本造機ホール）
五味さんを師と慕う、長田真作さんも途中から登壇。二人の軽快なトークが会場をおおいに盛り上げました。合わせて、それぞれの作品展も呉で開催されました。

▲ 五味太郎 絵本クロニクル展（7/25〜8/23・呉市立美術館）

五味さんと長田さんの絵本（中央図書館）

Q 長田さんに、五味さんとの出会いを聞きました！

高校卒業後に上京し、自主映画を撮るなどして自分なりの『表現』を模索していた頃、五味（太郎）さんの絵本と出合いました。当時、僕は障害のある子の学童保育で働いていて、そこで子どもたちが真剣に見ていたのが五味さんの絵本。「何がこんなに夢中にさせるのか」と気になり、次は五味さんのエッセイを読みました。感性と理屈、どちらにも響く文章に衝撃を受け、その勢いで「会いたいです」という趣旨のメールを送りました。無謀な行動にも思えますが、幸運にも五味さんは面白がって自宅に招いてくれたんです。

そこから五味さんとの付き合いが始まり、『表現』の選択肢に絵本が加わりました。映画では演技指導の難しさがあり、小説では直感的な表現が抜け落ちると感じていた頃でした。そこで、「これなら自分の世界を追及できる」と、僕は絵本を描き始めたんです。五味さんには本当に感謝しています。今回、僕の地元・呉で共演できたことも、とても光栄でうれしかったですね。

もっと見たい
※デジタルブック（電子書籍）版から画像をタップすると別の画像を見ることができます。

Camera Topics 呉市の今を届けます

■ 長田真作「みまもる みまもられる展」（7/20〜8/31・ギャラリー「リト」）

デビュー10周年を記念した作品展を、長田さんの生まれ育った長迫地区で開催。作品約100点が並び、会期中には、長田さんによる絵の公開制作やギャラリートークなども行われました。

◀長田さんがギャラリー「リト」で、公開制作を行った4作品